

機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会（第二回）  
総合工学委員会・機械工学委員会合同 力学基盤工学分科会（第二回）合  
同会議 議事録

日時 平成 30 年 3 月 5 日（月）10:30～12:30

会場 日本学術会議 5 階 5-A(1) 会議室

出欠 （◎委員長，○副委員長，△幹事）

IUTAM 分科会

出席 ◎菱田公一，藤井孝藏，△前川宏一，吉村忍，△亀田正治，岸本喜久雄，久保司郎，  
橋口公一，松本洋一郎，矢川元基

欠席 ○金田行雄，渋谷陽二，小峯秀雄，竹内徹，緑川光正

オブザーバ 佐野理（東京農工大学），高木周（東京大学），藪野浩司（筑波大学）

力学基盤工学分科会

出席 菱田公一，但野茂，藤井孝藏，吉村忍，△荒木稚子，梶島岳夫，◎岸本喜久雄，小机  
わかえ，塩見淳一郎，○高田保之，田中和博，塚田竹美，萩原一郎，橋口公一，△松  
尾亜紀子，松本洋一郎，水野毅，門出政則，矢川元基，山西陽子

欠席 河合宗司，北村隆行，金子成彦，渋谷陽二，山崎光悦

オブザーバ 萩原直道（慶應義塾大学），高木周（東京大学），中谷彰宏（大阪大学）

配布資料

IUTAM 分科会

資料 1-1 IUTAM 分科会（第 1 回）議事録（案）

資料 2 委員名簿

資料 3 特任連携会員 委員の追加

資料 4 理論応用力学小委員会の設置について

席上配布資料 1 第 64 回理論応用力学講演会 収支決算書（仮）

席上配布資料 2 IUTAM Symposium 提案

席上配布資料 3 平成 30 年度会議開催計画表

力学基盤工学分科会

資料 1-2 力学基盤工学分科会（第一回）議事録（案）

資料 2 力学の深化・展開小委員会設置提案書・委員名簿

資料 3 IUTAM Newsletter

資料 4 理論応用力学シンポジウムポスター

資料 5 会議開催計画表

## 議事

### IUTAM 分科会

#### 1. 前回議事録の確認

菱田委員長より、資料 1-1 に基づき説明があり、原案を承認した。

#### 2. 分科会追加委員について

亀田幹事より、(1) 前回分科会にて分科会の追加委員として名前の挙がった大島まり、新野宏、佐野理、西村直志の 4 氏から内諾が得られた、(2) 関係書類（資料 2, 資料 3）を事務局に提出し、追加の可否は 3 月の幹事会の審議を経て決定される、との報告があった。

#### 3. 理論応用力学小委員会の設置について

亀田幹事より、(1) 資料 4 に示す設置提案書を事務局に提出し、2 月の幹事会で設置が承認された、(3) 前回分科会の議論に基づき委員名簿を整備し、本日から委員候補に就任の打診を行う、との報告があった。

岸本委員から、小委員会の委員長、副委員長、幹事を決めるよう発議があり、審議の結果、委員長：菱田、副委員長：前川、幹事：亀田、とすることを決定した。

#### 4. 第 64 回理論応用力学講演会の収支について

菱田委員長より、席上配布資料 1 に基づき、昨年 8 月に実施した表記講演会の収支の報告があった。審議の結果、(1) 会場料が高く（176 万円）、前回（63 回）からの繰越金（約 370 万円）を 160 万円ほど取り崩した、(2) 従来集めていた関連学協会からの協賛金を今回徴収していない、の 2 点に問題があるが、まだ十分な繰越金が残っていることから、原案の方向で収支決算を確定させることを承認した。

#### 5. IUTAM シンポジウムの提案について

高木オブザーバより、IUTAM Symposium on Physics and Chemistry of Gas-Liquid Interfaces and Dynamics of Bubbles（2020 年東京）を提案したい、との意向が示され、席上配布資料 2 の草案に基づき概要の説明があった。審議の結果、原案通り提案することを承認した。

岸本委員より、口頭にて、計算高速化をテーマとするシンポジウムの提案を準備しているとの報告があった。

#### 6. ICTAM の誘致について

佐野オブザーバより誘致日程、松本委員より過去の開催地決定の経緯の概要が示され、2024 年日本誘致を目指すには、2018 年 7 月 22～25 日に開催される IUTAM General Assembly（ボストン）で 5 分間のプレゼンテーションを行う必要がある、との認識を共有した。

誘致準備の進め方を審議した結果、(1) 菱田委員長、亀田幹事、および、理論応用力学企画小委員会メンバーの高木、河原、堀、吉川（暢）の各氏が中心となって準備を進める、(2) 誘致の協力体制を強固にするため、建築系の竹内委員にも小委員会委員に加わってもらう、(3) さらなる小委員会委員として、大気海洋系を専門とし国際的に活躍している 50 歳程度の研究者を加え、適任者の推薦を新野委員候補に依頼する、ということを決めた。

#### 7. 第 65 回理論応用力学講演会について

菱田委員長，岸本委員より，直近3回の講演会に倣い，(1)2019年に開催する，(2)実行主担当を土木学会に依頼する，との方向性が再度示され，承認した。

今後の進め方を審議した結果，(1)菱田委員長，岸本委員のサポートのもと，前川幹事が取りまとめる，(2)理論応用力学企画小委員会メンバーの荒木，加藤，高橋，山川，山田，吉川(仁)の各氏を中心に，前回実行委員会からの引き継ぎ，準備を行う，ということを決めた。

また，これまでの実施で問題となってきた，会計，実行委員会と分科会との連携，については，継続審議とすることとした。

## 8. 平成30年度会議開催計画について

亀田幹事より，席上配布資料3に基づき，平成29年度と同様に4回開催する計画であることが示され，原案を事務局に提出することを承認した。

### 力学基盤工学分科会

#### 1. 前回議事録の確認(資料1-2)

岸本委員長より，資料1-2に基づき説明があり，原案が承認された。

#### 2. 小委員会「力学の深化・展開小委員会」の設置(資料2)

岸本委員長より，資料2に基づき説明があり，幹事会で設置が承認されたことが報告された。

#### 3. 理論応用力学講演会

- (1) IUTAM 分科会内の理論応用力学企画小委員会が担当することとなった。(委員長：菱田先生，副委員長：前川先生，幹事：亀田先生)
- (2) 隔年開催で，2019年度に土木学会が主幹事学会で行うことが確認された。土木系の応用力学シンポジウムなどとの併催や，運営(学協会との連携，事務局機能・予算管理の担当，開催時期・場所など)に関しては，今後検討することとなった。

#### 4. 理論応用力学シンポジウム

- (1) 毎年開催する方向性が確認され，これまで通り，内容は招待講演を主とし，春に開催することが確認された。学協会への協力依頼も視野に入れることとなった。
- (2) 計算力学シンポジウムの例が紹介された。毎年12月に開催され，各学会から推薦された若手研究者等(各学会からの委員から構成される小委員会から推薦を依頼)が講演を行っており，講演実績が将来のキャリアパスへつながる可能性があることや，シンポジウムには各学会長等が参加することなどが紹介された。

#### 5. その他

- (1) 資料5に基づき，平成30年度は分科会を5回開催することが提案され，原案を事務局に提出することが承認された。
- (2) メール審議のための，メールアドレス共用が承認された。